

1. 【商業・街の機能の整備促進】に関する検討協議会（兼事業計画策定・実施機関）

- 第1回 日時：平成27年11月24日（火）
場所：北茨城市商工会館 2階大会議室
出席者：20名
協議内容：Ⅰ. 経営発達支援計画に基づく本事業計画について
Ⅱ. ①市内商業環境の現状について
②商店街の今後の在り方・活性化策について
その他
- 第2回 日時：平成28年1月28日（木）
場所：北茨城市商工会館 2階大会議室
出席者：21名
協議内容：Ⅰ. 前回の協議項目に関して
Ⅱ. ①各地域（他の商店街）の新たな動き～活性化策と現況
②交流人口増加への観光産業と商業との関連・連携について
北茨城市 都市計画内容
Ⅲ. アンケート調査の内容について：実地現場での調査
（対面方式及び郵送によるもの）
①行商サービス事業・一般市民向け
②茨城空港 アンケート調査内容

2. 事業評価委員会

日時：平成28年2月23日（火） 午前10時より
場所：北茨城市商工会館 理事会室
事業内容の説明と報告：北茨城市商工会 経営指導員 藤島 匠
北茨城市商工会 補助員 塚田 三貴子
評価者：中小企業診断士 初鹿野 浩明 氏 他1名

3. 総合ビジネススクール

- ①伴走型での講座（補助対象）：11コース
- ②伴走型での講座の受講定員数 210名（A）
- ③伴走型での講座の受講者総数 113名（B）
- ④受講割合（B）／（A） 53.8%

4. 北茨城市景況調査

対象：北茨城市内事業所 1970事業所（うち184事業所は宛先不明）
回収数：165事業所（回収率9.2%）
調査内容：全産業の業況DI、売上額DI、採算（経常利益）DI、資金繰りDI、借入難易度DI
生産設備過不足DI
以上の項目の①平成22年度（震災前）②平成23年度（震災直後）
③平成28年度（来期の予測）

5. ニーズ把握のためのアンケート調査

アンケートモニター：市内在住の男女100名
【性別】 男性23名 女性76名
【年代】 30代未満11名、30代21名、40代27名
50代5名、60代15名、70代14名、
80代以上 6名
調査方法：アルバイト2名による各地域（郵便局、公民館、駅など）での聞き取り調査
回収率：100%
質問内容：商業・まちの機能に関するアンケート（15項目）

6. 新規高卒者対象就職面接会

開催日時：平成28年1月21日（木）

開催会場：北茨城市商工会館2階大会議室

（当初の会場であったウェディングパレス美鳳が急きょ事実上倒産したため直前となって会場を変更した。）

参加事業所数：21事業所 求人数56名

参加高校：5校（県立高萩高等学校、県立磯原郷英高等学校、県立高萩清松高等学校
私立第一学院、県立日立商業高等学校）

参加生徒数：22名（男子5名 女子17名）

面接数（延べ）：50回 就職者数16名

内定率：72.7%（男子高校生100%、女子高校生64.7%）

7. 専門家個別相談会

対応者：(株)マネジメントセンター 代表取締役 中小企業診断士 松本幸雄 氏
他日本政策金融公庫日立支店貸付担当者及び当会経営指導員

相談者：計9事業所

開催場所：北茨城市商工会館役員室

開催日時：**第1回** 平成27年11月30日（月） 13:30~16:30

①事業承継 ②第二創業

第2回 平成27年12月16日（水） 9:00~14:00

①第二創業 ②第二創業 ③新規開業

第3回 平成28年1月20日（水） 9:00~12:00

①第二創業 ②事業再生

第4回 平成28年2月17日（水） 9:00~11:45

①連鎖倒産防止 ②事業継承

8. 外国語パンフレット作成準備事業

1. (株)EMMYに依頼し城市観光協会が所有する北茨城観光パンフレットを①中国語②韓国語③英語、の3ヶ国語に翻訳しデータ化
2. 上記のうち①中国語について、すぐに印刷製本ができるようイラストレータ形式にて画像化処理を実施
3. パンフレットの印刷と頒布については平成28年度の県リーディング事業等にて実施予定。

9. 中国人観光客に対する観光PRアンケート調査

【事業目的】

中国を中心とした観光客に対し、北茨城市の観光資源である歴史的建造物・温泉地・アンコウ鍋等の特産品PRを行うほか、茨城県北地域周辺の温泉を含めた観光資源についての魅力や、日本や茨城に求めている観光ニーズを調査し、外国人観光客の増加による市内観光産業の振興を図るうえでの基礎資料とすることを目的として実施した。

【アンケート実施方法】

平成28年1月22日（金）～24日（日）、29日（金）、31日（日）、2月5日（金）～7日（日）の前8日館、茨城空港1階ロビーにて商工会スタッフと中国人通訳1名による聞き取り調査を実施。なお通訳を介した調査は期間中4日間。

【調査対象】

回答40名（うち、上海便、深圳便 杭

圳便の中国人21名）

10. 定性的コンサルティングツールの構築と運用

- 目的：①PDCA サイクルにおけるリスクマネジメント支援
②事業評価システムの構築と運用

システムの仕様：* グーグルクラウドのサーバ上にて稼働し、ホスト（商工会）とゲスト（事業所）がメールでのパスワードややりとりによって起動する。
* ゲスト側（事業主）が直感的にアンケート形式で20項目についてPCやスマホ等でホスト（商工会）に送信すると、「御社への経営計画アドバイス」がホスト側に自動で出力される。
* 決算書の数字などを入力して各経営指標が出力されるシステムについてはすでに無料の診断ツールがあるため、今回はあくまでも定性的な助言内容に特化した。
* ゲスト（事業主）が20の項目の質問について成熟度レベルを0～3の4つのレベルで入力してもらうが、それぞれの項目のページには、その質問に関連する必要となる各帳票類がテンプレートとともにその時点で入力作成を可能とした。

質問項目：20項目

1. 経営者の責任（経営理念、自己研鑽、経営指標、地域活動）
2. 経営方針（情報収集、中長期目標、事業計画、事業活動）
3. 市場理解（環境分析、リスク管理、顧客満足、競合対策）
4. 付加価値創造（価値分析、価値提供、業務改革、新規事業）
5. 従業員活用（適材適所、評価制度、教育訓練、従業員面談）

運用事業所：北茨城市内30事業所

11. 職員の資質向上のための各種取組（Off-JTのみ）

【平成27年度の取組み】

- ①記帳専任職員 小野隼輔：茨城県商工会連合会主催アサーティブコミュニケーション研修受講
- ①補助員 塚田 三貴子：経営指導員WEB研修の全課程受講及び効果測定の受検
- ②経営指導員 加藤 稔：経営指導員向け小規模事業者支援研修（個別支援型）の終了
- ③経営指導員 藤島 匠：平成27年度中小企業診断士理論政策更新研修
第2回論文審査の提出
- ④経営指導員 馬上英博：茨城県商工会連合会 経営支援職向け研修受講

【平成28年度の取組み計画】

* 中小企業大学校東京校での研修

経営指導員	佐藤 康弘	新規事業・第二創業支援の進め方
	藤島 匠	プロジェクトマネジメント型経営改善支援の進め方
	加藤 稔	経営革新計画の策定とフォローアップ支援①
補助員	塚田 三貴子	経営指導員WEB研修の全課程継続受講
記帳専任職員	小野 隼輔	税務・財務診断②（旧基礎研修Ⅰ）

*OJTプログラムについては平成28年度の事業計画の中で策定していく。